

過労死等防止対策等労働条件に関する啓発事業
(中学、高等学校等への講師派遣支援事業)

報告書

平成31年3月

株式会社 プロセスユニーク

2.2.3. 学校への講師派遣状況

事業案内を行い、講師派遣依頼書の送付があった学校（中学校、高等学校、大学、専門学校等）に対し、講師を派遣して過労死等労働条件に関する啓発授業を実施した。講演実施回数は以下のとおり。

なお、実施回数には、遺族の講話が収録されたメッセージ動画（DVD）の上映のみで実施された授業（2回）も含まれる。

地域別実施回数

北海道地区	11
東北地区	4
関東地区	82
中部地区	28
近畿・北陸地区	55
中国・四国地区	6
九州地区	4
合計	190

学校種別実施回数

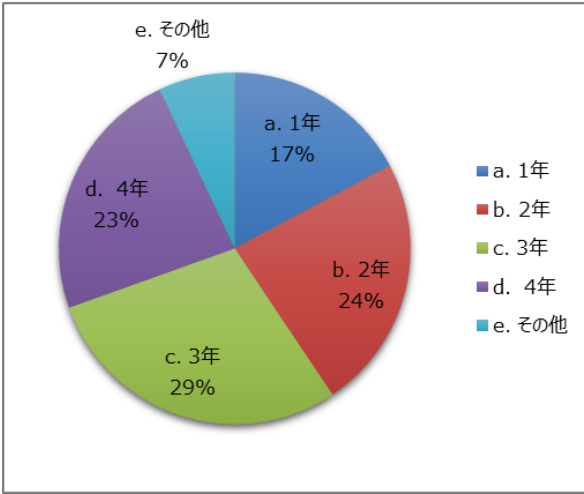
大学	72
短期大学	4
専門学校	20
高等学校	85
中学校	9
合計	190

実施日、実施校、参加人数は、次の（表3）実施校一覧のとおり。

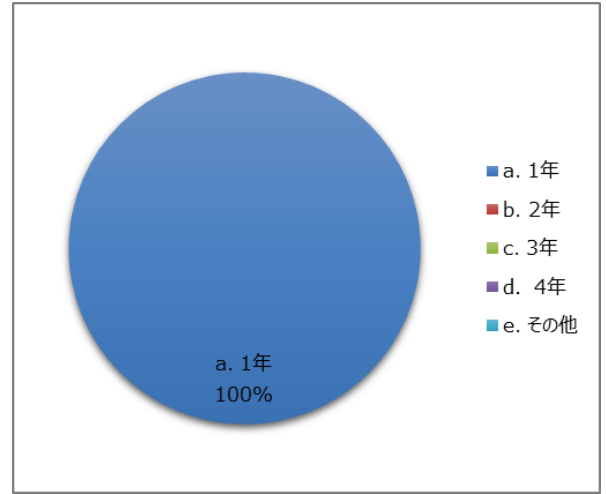
全国各地の中学校、高等学校、専門学校、大学、計190回で16,562名に受講してもらい、過労死防止等、労働条件に関する啓発・周知を行うことができた。

選択肢	件数
a. 20人以下	14
b. 20～30人	14
c. 30～40人	9
d. 40～50人	8
e. 50人以上	59

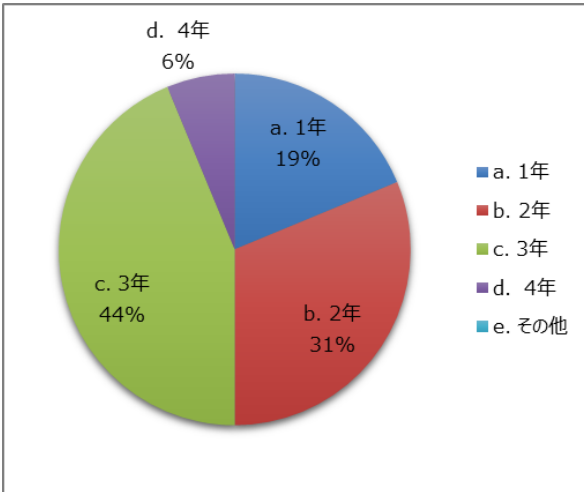
(大学参加学年)



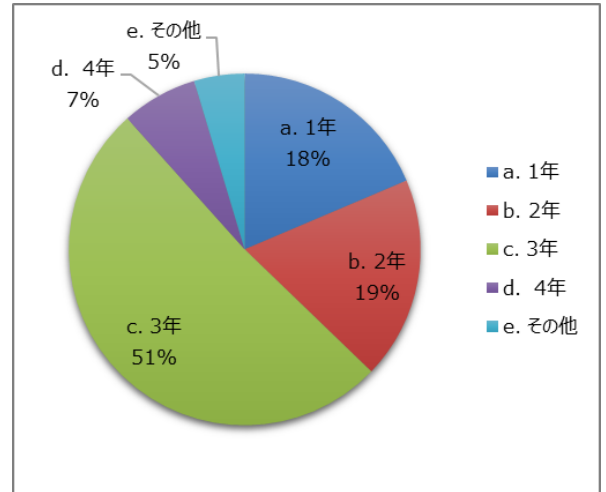
(短期大学参加学年)



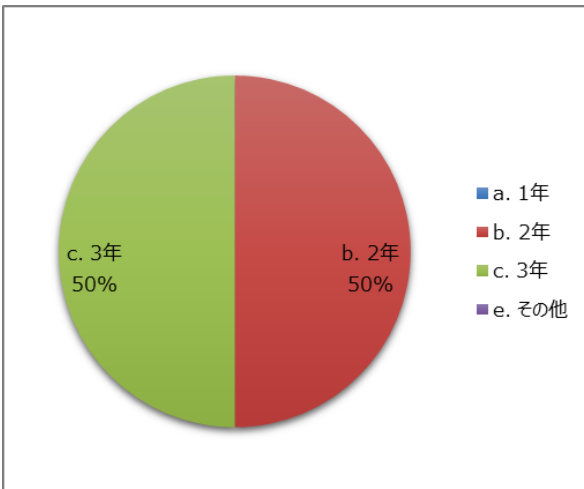
(専門学校参加学年)



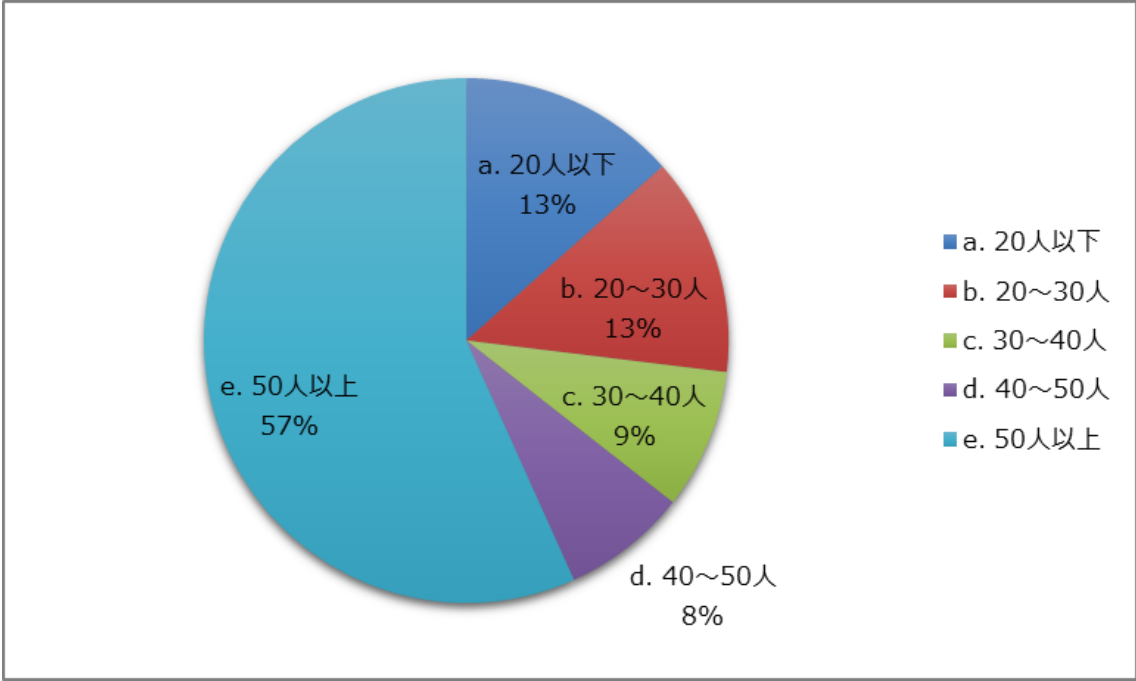
(高等学校参加学年)



(中学校参加学年)



(参加人数)

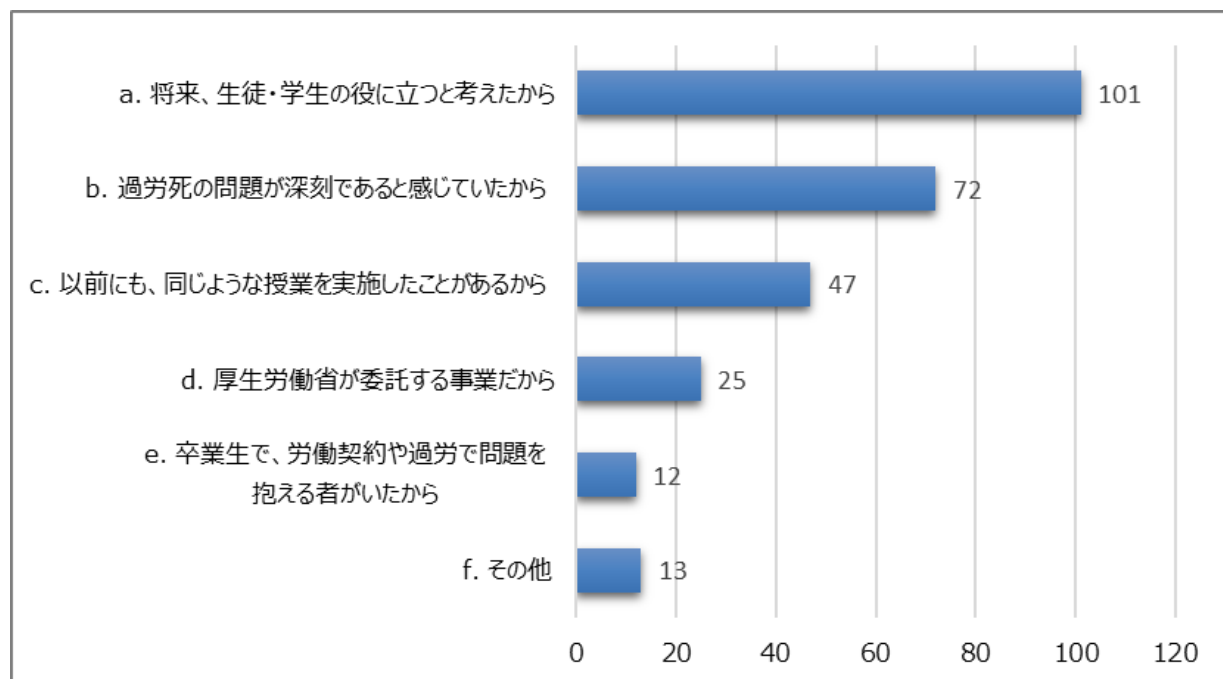


2. 今回、啓発授業の申込みをされた理由は何ですか。(複数回答可)

- a. 将来、生徒・学生の役に立つと考えたから
- b. 過労死の問題が深刻であると感じていたから
- c. 以前にも、同じような授業を実施したことがあるから
- d. 厚生労働省が委託する事業だから
- e. 卒業生で、労働契約や過労で問題を抱える者がいたから
- f. その他 ()

選択肢	件数
a. 将来、生徒・学生の役に立つと考えたから	101
b. 過労死の問題が深刻であると感じていたから	72
c. 以前にも、同じような授業を実施したことがあるから	47
d. 厚生労働省が委託する事業だから	25
e. 卒業生で、労働契約や過労で問題を抱える者がいたから	12
f. その他	13

(※複数回実施校から提出された、回答が同一のアンケートは1件としてカウント)



その他の理由として、

- 自分も学生の時にこの啓発授業を受けたから。
- 進路の学習として大変有効であると考えたため。
- 本校卒業生よりこの事業の紹介があった。
- 現在、生徒が抱えるアルバイトの悩みがあったから
- キャリア教育の一環として。
- 無料だから。
- 授業で扱うテーマに合致した内容だったから。
- 他校教員から本事業の評判を聞いて。
- 弁護士会からの提案があったため。
- 卒業前に社会人としての自覚を促したかった。

3. 生徒・学生の反応はどうでしたか。(複数回答可)
- a. 関心を持っていた

b. 真剣に聞き入っていた

c. 重要な事柄だと感じていた

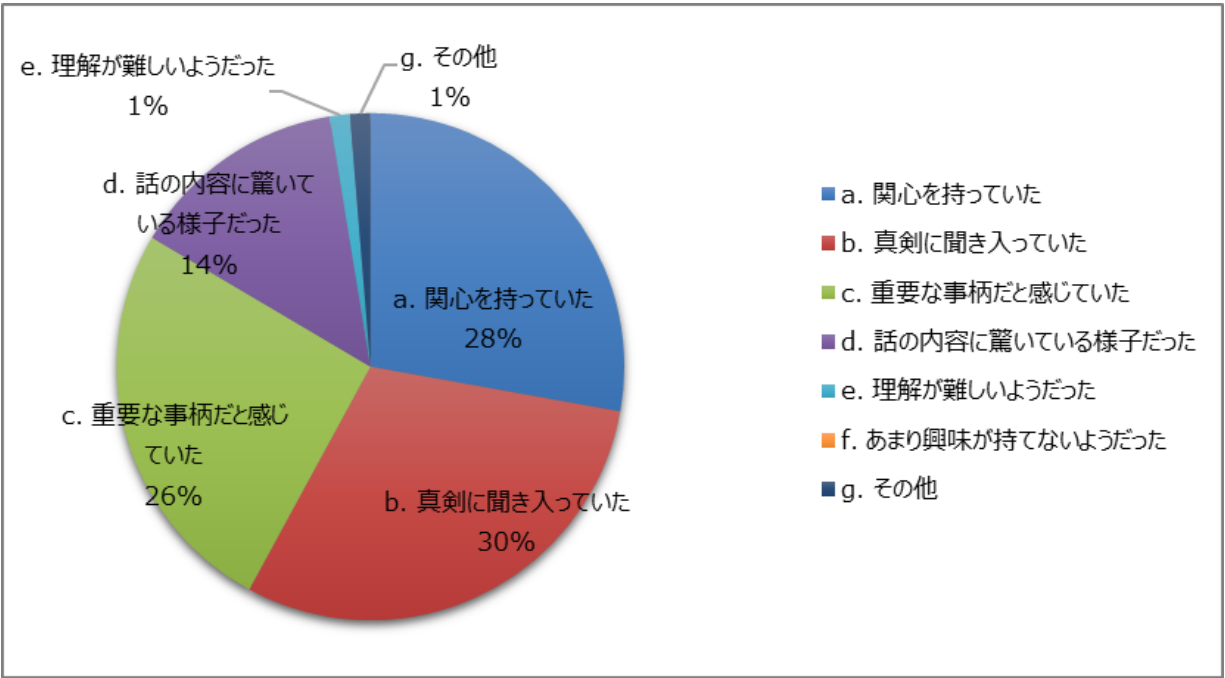
d. 話の内容に驚いている様子だった

e. 理解が難しいうだった

f. あまり興味が持てないようだった

g. その他 ()

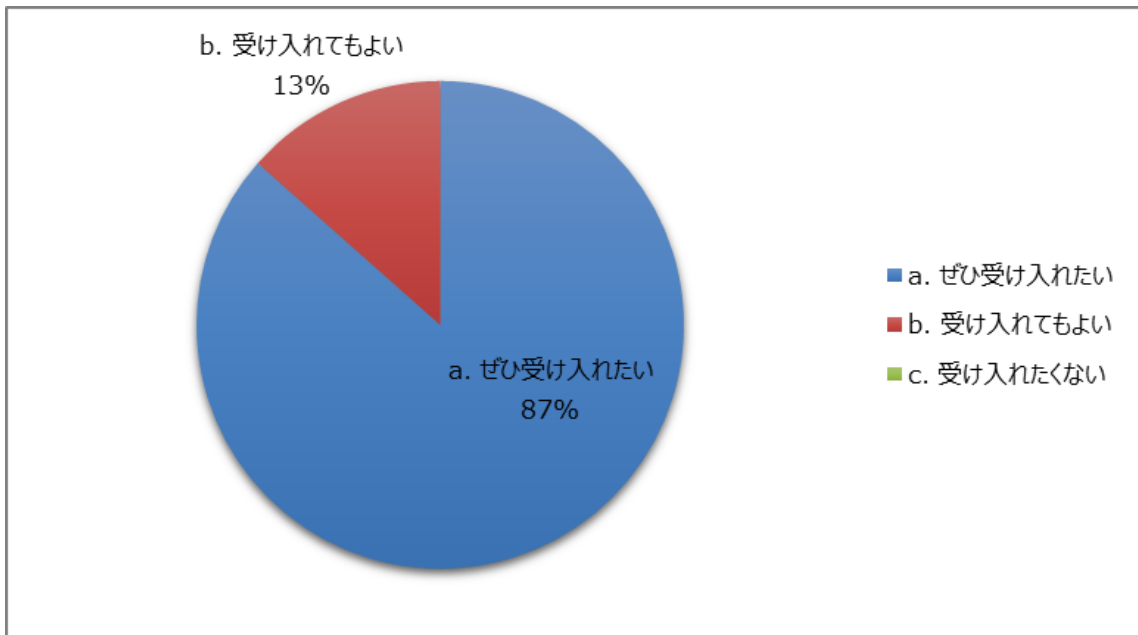
選択肢	件数
a. 関心を持っていた	86
b. 真剣に聞き入っていた	93
c. 重要な事柄だと感じていた	79
d. 話の内容に驚いている様子だった	43
e. 理解が難しいうだった	4
f. あまり興味が持てないようだった	0
g. その他	4



4. 今後も機会があれば、過労死、労働条件に関する啓発授業を受け入れたいですか。

a. ぜひ受け入れたい b. 受け入れてもよい c. 受け入れたくない

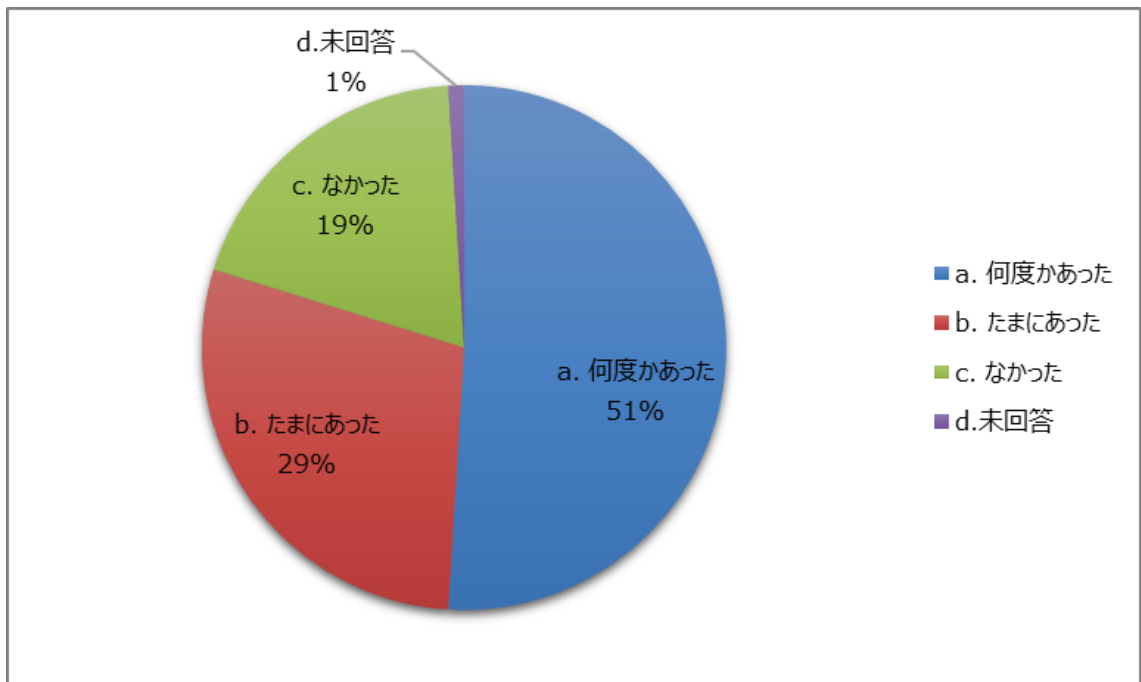
選択肢	件数
a. ぜひ受け入れたい	90
b. 受け入れてもよい	14
c. 受け入れたくない	0



5. 授業を受ける以前から、過労死、労働条件についてお話する機会がありましたか？

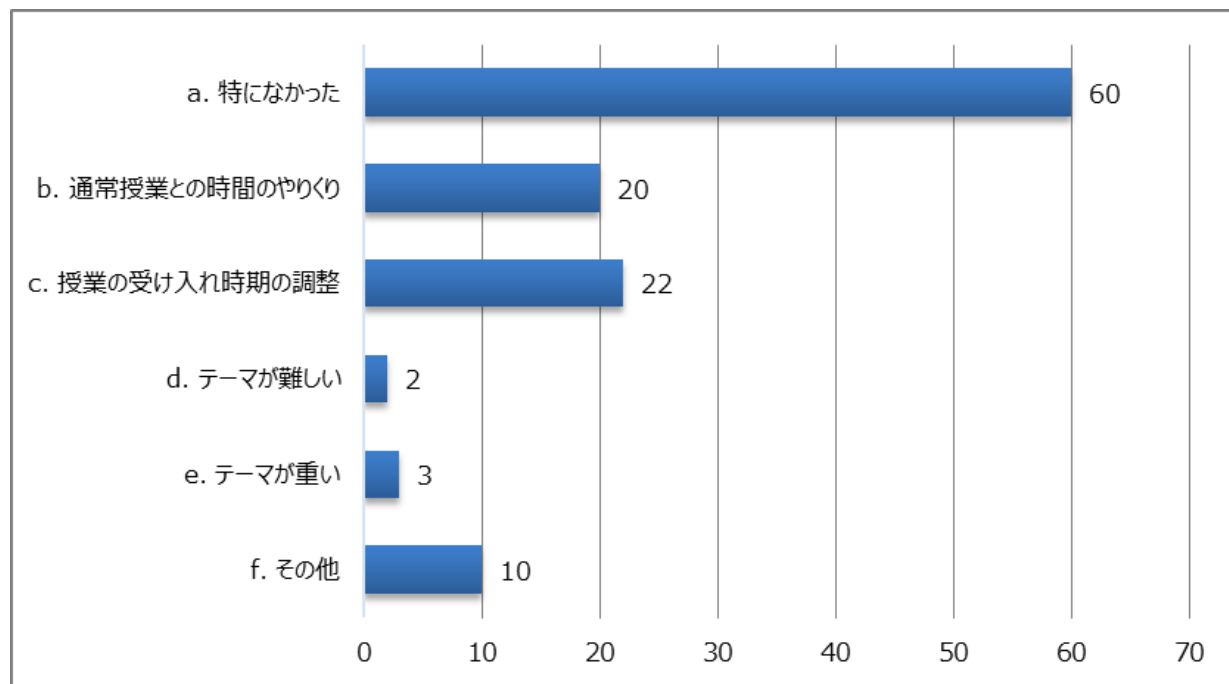
a. 何度かあった b. たまにあった c. なかった

選択肢	件数
a. 何度かあった	53
b. たまにあった	30
c. なかった	20
d. 未回答	1



a. 特になかった b. 通常授業との時間のやりくり c. 授業の受け入れ時期の調整
d. テーマが難しい e. テーマが重い
f. その他（ ）

選択肢	件数
a. 特になかった	60
b. 通常授業との時間のやりくり	20
c. 授業の受け入れ時期の調整	22
d. テーマが難しい	2
e. テーマが重い	3
f. その他	10



- ・ 事前に講師の方ともう少し打合せができれば良かったです。
- ・ 講師との日程調整
- ・ 事前学習として適切な内容に悩んだ。(学年・授業が複数だったため理解度も異なっていた実情もある。)
- ・ 同じ授業が2講座あり、少人数であるにもかかわらず、1日に同じ内容の授業を2回やって頂くことになってしまうことが申し訳ないです。

7. その他、ご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

自由記入欄には、『ご遺族の方からお話を伺う貴重な機会となり、労働問題をより身近な問題として学生自身にも実際に起こり得ることと受け止めた様子であった』『専門家の方から、具体事例を交えながらブラックバイト被害や過労死を防止するためのワークルールを学ぶことができ、大変有意義な機会になった』『労働基準法など法律を知っておくことの重要性が理解できた』といった本事業の趣旨である過労死等防止に関する周知・啓発が行えたことがわかるコメントが多く寄せられた。また、今後の事業の継続や拡大を希望する声も多数あった。

その一部を紹介する。

(感想)

- ・ 事前の打ち合わせを含め、大変丁寧にご対応頂き、学生の興味関心に沿った内容で、展開していただきました。学生が、自分だけは巻き込まれないようにしようという個人の関心に留まることなく、社会問題（社会構造の問題）として受けとめてくれたように思います。今後も事業が継続されていくことを希望いたします。ありがとうございました。
- ・ 生徒は自分自身の事として真剣に話を聞くことができました。内容については、学校の実情に合わせて講師の先生が選んで下さったので非常に良かったです。遅い時間帯にかかわらず来ていただき、ありがとうございました。
- ・ 昨年度に引き続いて実施させていただきましたが、年々学生の関心の度合いが高くなってきているように感じます。社会的にも一層関心が高まっている時でもありますので、他大学にもこのような取り組みが広まっていけばと感じています。
- ・ 法学部の初年次科目「現代社会と法」の一環として、本授業を実施いたしました。入学して間もない時期にブラックバイト被害や過労死を防止するためのワークルールを学ぶことができ、参加者には大変有意義な機会になったことと存じます。講師のお二人には早朝の時間帯にご足労いただき、厚くお礼申し上げます。ご講義の内容につきましては申し分ございません。時間の制約もあり、質疑応答の時間が十分に取れなかったことがいささか惜しまれます。またこのような機会がございましたら、利用させていただきます。どうもありがとうございました。
- ・ 本学の常務教員も同席くださり、学生が寝たりしていないことに驚かれていました。長時間だったので少し学生に疲れも出ていましたが、リアリティのある話で最後まで聞けていたようです。

- ご案内をいただいた当初は、すべての学生を対象に大学のキャリア支援行事の一つとして開催を望んでいましたが、その時はすでに大学の年間行事予定が決まった後だったので希望はかなわず、自分が担当する授業での受け入れとなりました。今後は、新年度前の2月、3月あたりに案内をしてほしいです。少なくとも4月に案内をいただければ、前期の履修生に本啓発授業を聞かせることができるので早い案内を希望します。また是非お願いしたいと思います。
- 本校の卒業生で若くして過労で亡くなった者がおります。そうした背景もあり、現実を知るためにお願いしましたが、特にご遺族の方のお話は本校生徒の父母像にかなり近いものがあり、自分ごととして受け止めた生徒が多くおりました。弁護士先生の講義は内容が中学生レベルでもの足りないと感じたのですが、そのあたりの「加減」の調整は学校・学年の違いで難しいのだらうと思います。そこがクリアできればさらによかったです。ありがとうございました。
- こうした啓発授業を過労死・過労自殺の予防のために開催することは極めて大事なことだと思います。啓発授業では現場をよく知る弁護士の方、原告の方にお話を頂くが、学生からは普通の講義ではここまでの危機感を抱くことができなかったという声が多く寄せられました。
- 受講の学生は4年生が主体だったので「社会人になる目前で話を聞けてよかった」というコメントが多く見られました。次年度も引き続きお願いできるようでしたら、学生相談室のイベントとして実施させていただけるといいますので、その節はよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。
- 知人の高校教諭からこの啓発事業を教えてくださいました。教育委員会からの案内などがあればもっと広まると思います。
- 過労死またはうつ病による自殺の事例をもっと多く紹介いただけると良いと思います。また、ワークルールにつきましては、「法律がどうなっている」とどまらず「こんな酷い事例があった！」など具体的なものをお示しいただけるとさらに良いと思います。また救済の方法なども、もっと具体的であると良いと思います。
- 授業計画は前年度に決まってしまうので、早めに存在を知らせて頂けると助かります。また、配布資料が多い（重い）と物理的に運搬が大変なので、データ配布できるもの（厚労省のパンフレットなど）は印刷物でない方が助かります。（あるいは、後日配布で良いとか）
- 短大という性質上、時間の制約が大きいですが、授業として組み込むことで、実現できました。少し重い話になるかなというイメージはありましたが、弁護士さんにおこしいただいたので、法規についての内容や事例も踏まえていただき、良かったと考えています。学生には難しかったかもしれませんが、アルバイトや就活において重要なことだと思いますし、必ず役立つと思っています。また機会がありましたら、お願いいたします。

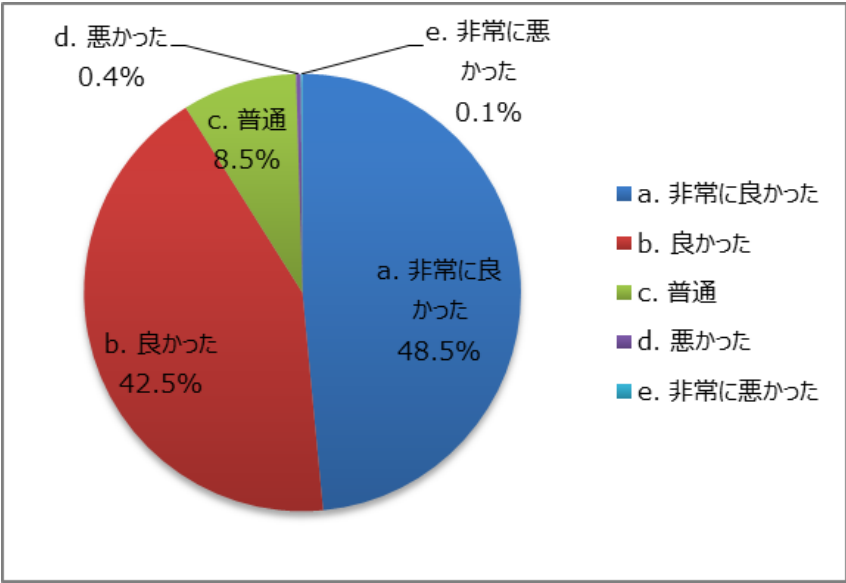
3.2 生徒・学生からの感想

任意で生徒・学生向けアンケートを実施した。問1についてはそれぞれ校種ごとに分類し集計を行った。

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。
【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

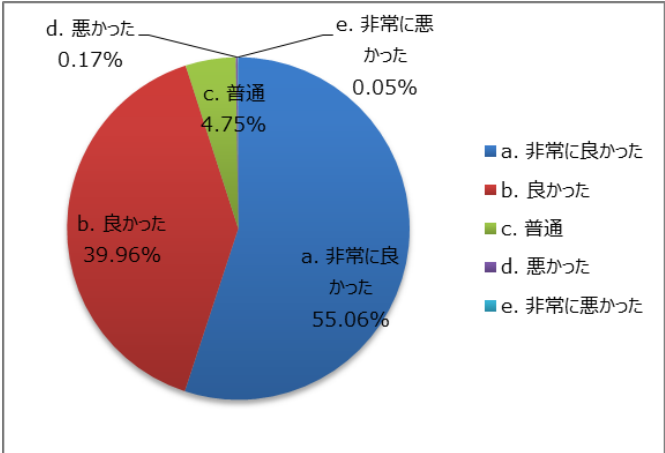
選択肢	大学	短期大学	専門学校	高等学校	中学校	全体
a. 非常に良かった	2,235	115	320	2,501	169	5,340
b. 良かった	1,622	115	275	2,517	156	4,685
c. 普通	193	52	30	610	51	936
d. 悪かった	7	1	1	27	3	39
e. 非常に悪かった	2	0	0	7	3	12

(全体)



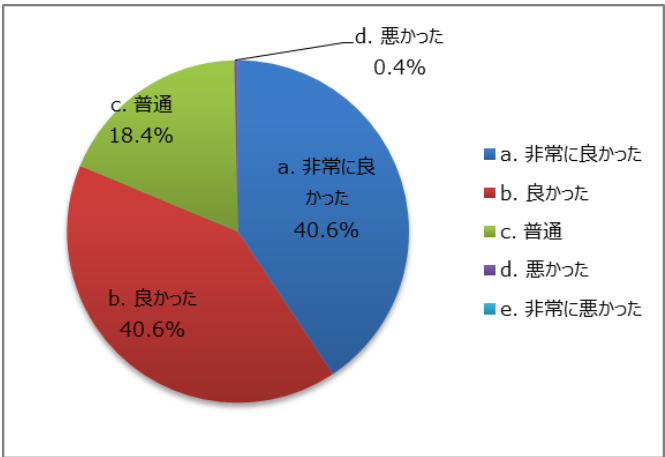
(大学)

選択肢	件数
a. 非常に良かった	2,235
b. 良かった	1,622
c. 普通	193
d. 悪かった	7
e. 非常に悪かった	2



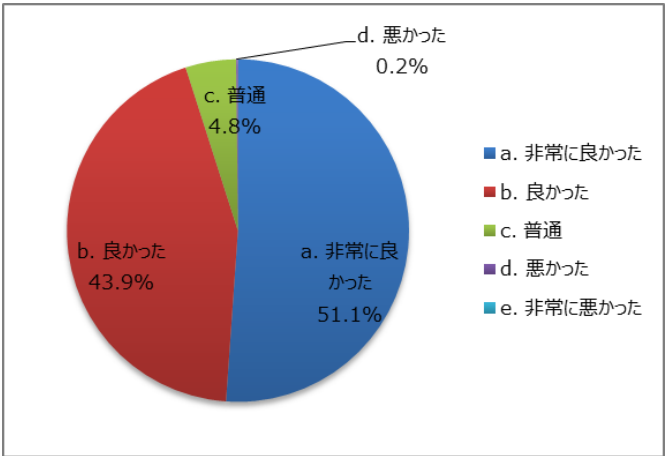
(短期大学)

選択肢	件数
a. 非常に良かった	115
b. 良かった	115
c. 普通	52
d. 悪かった	1
e. 非常に悪かった	0



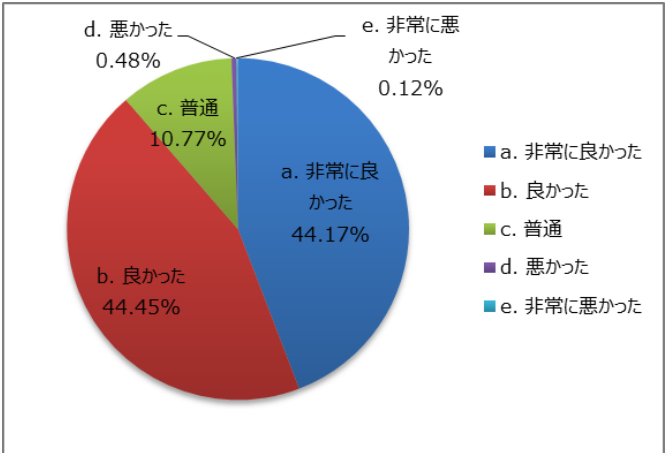
(専門学校)

選択肢	件数
a. 非常に良かった	320
b. 良かった	275
c. 普通	30
d. 悪かった	1
e. 非常に悪かった	0



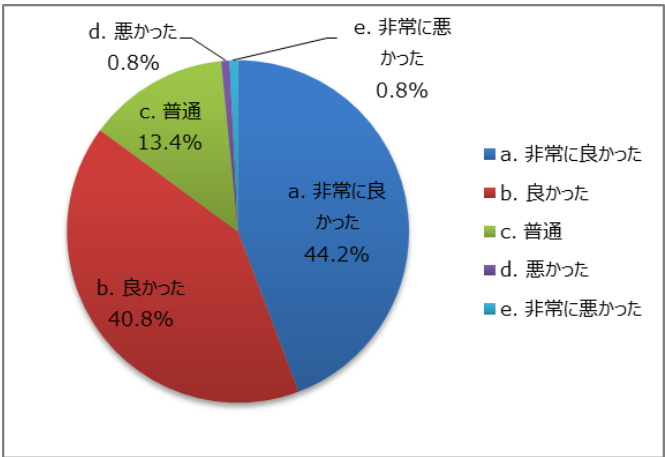
(高等学校)

選択肢	件数
a. 非常に良かった	2,501
b. 良かった	2,517
c. 普通	610
d. 悪かった	27
e. 非常に悪かった	7



(中学校)

選択肢	件数
a. 非常に良かった	169
b. 良かった	156
c. 普通	51
d. 悪かった	3
e. 非常に悪かった	3



問2、問3については自由記述となっており、校種ごとに一部を抜粋して掲載する。

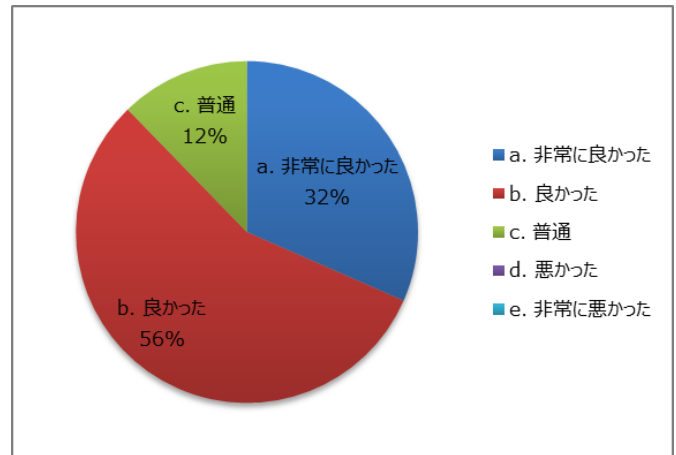
北海道大学（2019年1月17日実施、参加：100名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	18
b. 良かった	32
c. 普通	7
d. 悪かった	0
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的に
お聞かせください。

- ・ 会社の見方、四季報など知らないことを知ることができました。
- ・ 実際に働き方で困っている人の事例を交えながら説明して下さったことで、とても理解しやすかったです。
- ・ 具体的事例をもとに説明してもらったことで、おかしな労働条件、環境を判断しやすくなったと思う。
- ・ 過労死という言葉、その実態を「なんとなく」から「確かな理解」へと変えてくれた。
- ・ 法律の視点から、どうすべきだったかを説明してくれたところがよかったです。
- ・ 働く上で知っておかないと自分を守れない事が、こんなにあるのかと思い知りました。
- ・ これまでの授業で机上のものとして知った知識を血の通ったものとして実感することができました。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 知っているか知っていないかで今後の人生が大きく変わるので、勉強したことを周囲に伝えるなどして活かしたいと思った。
- ・ もっとこういう授業が広まるべき。できればアルバイトなどを始める前までに色々と知らせておくべきだと思います。
- ・ 今日のような授業を聞けてよかった。中・高や大学で必修にしてほしいと思った。
- ・ 教育現場の労働問題に関しては、まだまだ解決が難しいのだなと思った。
- ・ 労働者がもっと気軽に権利を主張できる世の中に早くなってほしい。
- ・ 自分の正当な権利を主張すると周囲から孤立し疲弊するだけで、権利は結局保障されないままと言う空気があると思う。

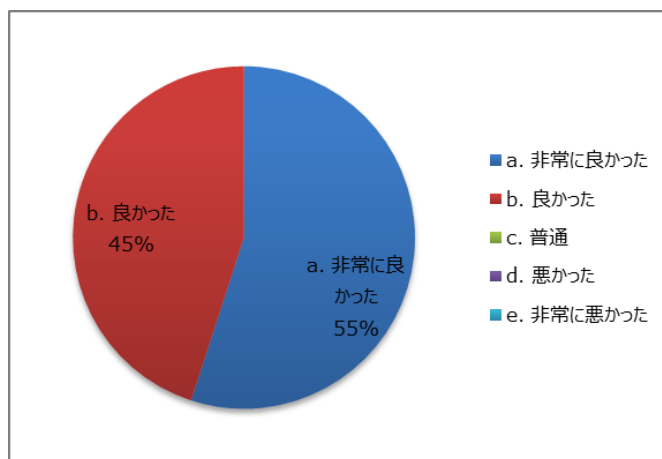
明治学院大学（2018年7月9日実施、参加：30名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	11
b. 良かった	9
c. 普通	0
d. 悪かった	0
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的にお聞かせください。

- ・ 企業側の過労死の認識の甘さなどを具体的な数値や当事者の事例を聞いて知ることができました。
- ・ 事例を元にワークルールを学ぶ事が出来、「過労死」への理解が深まり良かったです。
- ・ 過労死は自分の身にもおこりうるのだと実感させられました。
- ・ 当事者のご家族の話など直接聞ける機会はあまりないので貴重な体験でした。
- ・ 遺族の悲痛さや無念などがひしひしと伝わり、私たちも労働問題についてきちんと考えなければならぬと感じさせられた講演でした。
- ・ 具体例（労働時間・シフト表）を出していただいたので、より身近に感じられた。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 過労死についてのお話を聞いた1人として、身近な人が過労死することがないように、また、過労死させてしまう人間にならないようサポートできればと思いました。
- ・ 過労死は自分にも無関係でないことが良く分かり、気をつけていきたいと感じました。
- ・ 働くことってなんだろう…と悪い意味で疑問に感じてしまいました。これから就職活動が始まるので、企業選びは慎重に行っていきたい。
- ・ 私自身のアルバイト環境においても「あれ…」と思う部分があって、このまま知らないうちに過労死への道を歩みそうだったので、今日、労働法を知れて良かったです。
- ・ 困った時、どこに頼れるのか機関を知っておくことが大切だと思いました。
- ・ 過労死についてはニュースで知る程度だったが、今回詳しく聞くことができました。将来の自分を守るためにも、新しく知識をつけることができて良かったです。

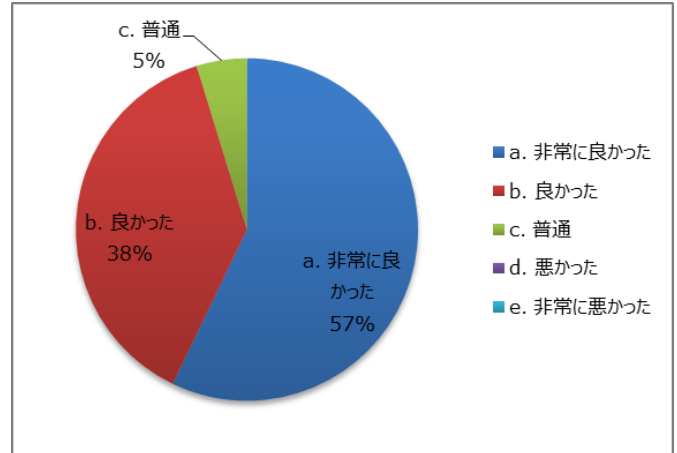
静岡大学（2018年8月27日実施、参加：30名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	12
b. 良かった	8
c. 普通	1
d. 悪かった	0
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的に
お聞かせください。

- ・ 法律などと関連させて教えていただいたので、社会や個人がどうすべきだったのか考えることができた。
- ・ 過労死してしまった遺族の方の生の声、弁護士の方の生の声を聴くことができて良かった。
- ・ 実際に過労死された方の働いていた時間数や言葉を知ることができて、他人事ではないなと感じられたことが良かったです。
- ・ 労災認定を受けるには、様々な調査があるということを知った。
- ・ グループワークで活発的に話し合いができて良かった。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 過去にあった過労死問題の実例について、様々な立場から「何ができていたか」ということを考えることが、これから改革運動をしていく際のヒントになると思う。
- ・ 遺族側と弁護士側、全く違う方向から話を聞けて良かったです。考えさせられることがとても多かったです。
- ・ 「自分には関係のないことだ」と考えてしまいがちですが、そんなことは全くないので、これからしっかりと考えていきたいと思った。
- ・ お話を聴いていて、本当にいたたまれなくなりました。まじめで素直な人ばかりが仕事に苦しむ社会は間違っていると思います。
- ・ 1人の死に対して、多くの人が向き合っていることを知った。友人や家族だけでなく企業や行政がどこまで親身になって、過労死ゼロに力を注いでいけるかが重要だと感じた。
- ・ 過労死は幸いなことに自分の身近にまだないですが、もし誰かがそうなった時、本人が声をあげる、もしくは行動に移す勇気と周囲の支えがなにより大切だと思いました。過労死問題は日本が抱える大きな問題の一つなので、根底から見直し改善しなければいけないと思います。

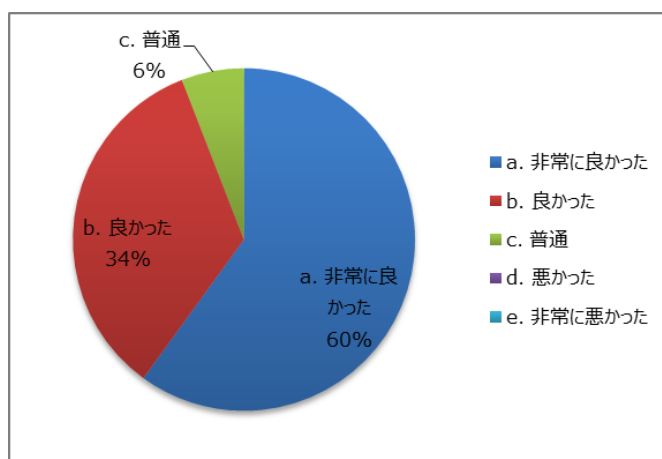
関西学院大学（2018年10月3日実施、参加：300名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	132
b. 良かった	75
c. 普通	13
d. 悪かった	0
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的に
お聞かせください。

- ・ 私たち学生にもブラックバイトなどで関係があると知れて、とても良かったです。
- ・ 実際に遺族の方のお話を聞ける機会がなかなかないので、とても良かったと思います。
- ・ 大企業であっても労働環境が悪い企業が存在することがわかり、大企業だから良いということはまったくないということがわかった。
- ・ 過労死は私たちの身近で起こりうることだと知り、また普段ニュースなどで報道されないことも学ぶこともでき、自分自身のためにもなりました。
- ・ 過労死によって、自分だけでなく周囲の人も深く傷つくので絶対にあってはいけないことだと思いました。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 過労死についての事件を最近よくニュースで見ますが、今回の話で過労死の実態を知り、自分にも身近なことだと感じました。過労死は本人だけで解決できる問題でもないし、会社だけで解決するのは難しいため政府の政策など国で取り組むべき重大な社会問題だと思います。
- ・ 人手不足による時間外労働の増加が一面にあると思うので、日本の将来を考えて行く上でも人手不足を解消しないとこの過労死の問題は解決につながらないと思いました。
- ・ 「ブラック企業」という言葉をよく聞く今、自分の身にもふりかかるかもしれないことだと思い、とても身近な話だと思った。責任感が強い人、断れない人など性格が良い程犠牲になりやすいと思う。
- ・ 過労死被害者家族の声を生で聞く機会はあまり無いので大変貴重でした。
- ・ 過労死は、20・30代が多いことを初めて知った。
- ・ 若者へ訴えかけるのも大切だが、実際に社会にでたら上司からのパワハラなどもあり、なかなか口に出して言えないのが現実だと思う。若者だけでなく、上の年代の意識も変えるべきだと思う。

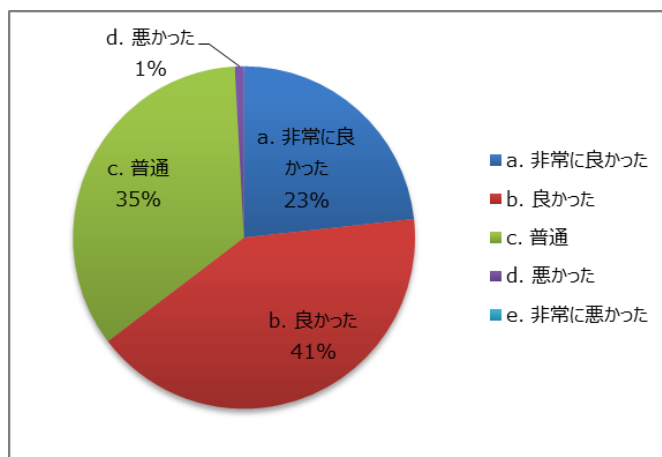
作新学院大学女子短期大学（2018年10月23日実施、参加：144名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	11
b. 良かった	9
c. 普通	0
d. 悪かった	0
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的に
お聞かせください。

- ・ アルバイトにも有休があることを学びました。
- ・ 退職したいときは退職する自由があるということを知り、良い情報を聞いたと思いました。
- ・ 様々な事例を分かりやすく表現してあって、学生の私にもとても理解し易い内容でした。
- ・ もし自分自身がこのような状況に置かれてしまった時、どこに相談をすればよいのかなど詳しく聞くことができて良かった。
- ・ 労働問題、労働条件について知らなかったことを詳しく知ることができて良かったです。
- ・ アルバイトなど身近なことに照らし合わせながら話して下さったのでわかりやすかった。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 働き始める前からきちんとルールを理解することが、自分や友だちの為になるとよく分かりました。私の友だちでも知らずに働いている子がたくさんいると思うので、教えてあげたいと思いました。
- ・ いつもはニュースを見るだけで気にも止めなかった過労死、過労自殺についてここまで詳しく教えてもらえるとは思っていませんでした。「上司や社長が怖くてやめられない人が多い」という部分で、最近見た過労自殺のニュースを思い出して、本当にあることなのだと実感しました。
- ・ 知っているつもりでも、知らなかったことがたくさんありました。自分はメランコリー親和型性格に当てはまる所もあるので、無理しすぎない心構えを持てるようにしたいです。「きついといえる勇気は逃げではない」という言葉は励みになった気がします。
- ・ 大手の企業だけでなく、保育の現場など小さな会社でも過労がある事を知り、就職する際、気をつけなくてはならないと感じた。
- ・ ワークルールを知っておけば、いざという時に自分の身を守る事ができるという事を知りました。辛くても大丈夫と思わずに自分の気持ちに早く気付く事が大切だと思いました。

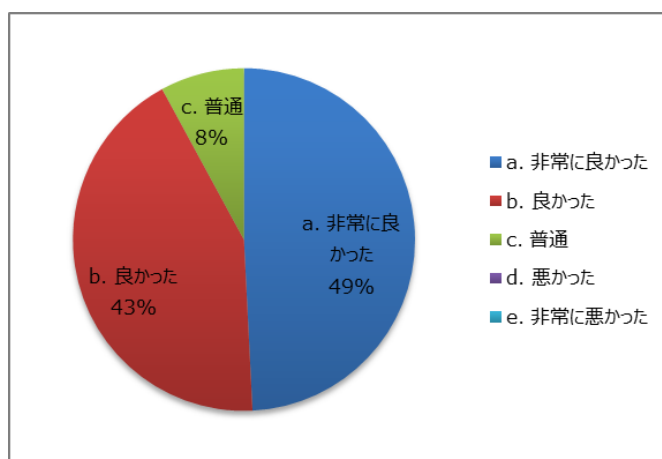
足利短期大学（2018年12月13日実施、参加：75名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	31
b. 良かった	27
c. 普通	5
d. 悪かった	0
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的にお聞かせください。

- ・ 労働時間や残業時間の詳しい基準がよくわかった。
- ・ 労働に関して「まだ学生だし」「バイトだし」と考えていて理解しようとしていなかったが講話を聞いて理解できた。
- ・ 遺族のお話を聞けて良かったと思います。労働者を「ただ働く人」と見るのではなく「1人の人間」として考えるべきだということが分かりました。
- ・ 仕事が本当に耐え難いと感じた時は、誰かに相談し改善することが自分の命を守る上で大切だと感じました。
- ・ 働く上で私たちを守るための法律や、自分自身で命を守るためにできる行動があることを学ぶことができました。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 自分もアルバイトでおかしいなと思ったことがあるが、人間関係が壊れると働きにくくなるので言いづらいと思う事がありました。
- ・ 実際の遺族の方の講話を聞くことができ、過重労働の怖さを知ることができました。仕事ばかりでなく、休息と楽しむ時間を入れてこそ素晴らしい人生になることがわかりました。
- ・ 過労死という言葉が国際語になっていることがとても恥ずかしいことだと思った。サービス残業は当たり前の事だと思っていたが、今回の授業をきっかけに考えを変えることができてよかった。
- ・ 過労は自分だけの問題ではなく家族の思いを巻き込む。抱え込めない、抱え込ませないように家族で気をつけていきたいと思った。
- ・ 労働時間を増やせば業務が完了すると言う単純なものでなく、適切な休息をとることにより作業効率も上がり、8時間集中するだけでそれ以上の業務が進むと言う考え方を企業に取り入れていかなければならないと思いました。
- ・ 細かく聞けてよかったです。労働問題に触れながら労働条件を学ぶことができ、就職活動をする際の参考になりました。
- ・ 命が1番大切だということが講話を通してよくわかった。働くことだけが全てでは無い。

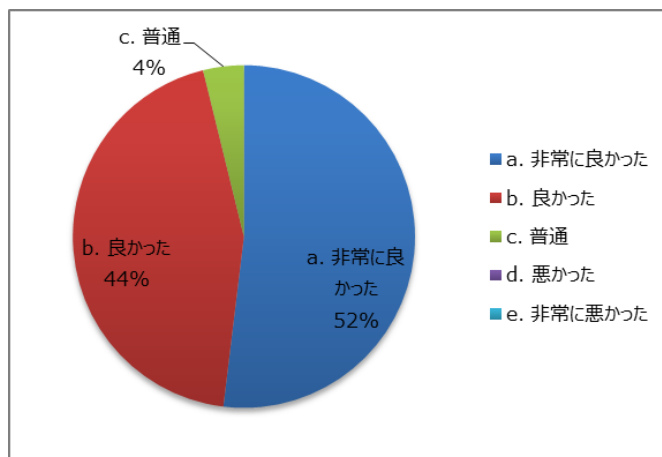
名古屋栄養専門学校（2018年8月31日実施、参加：65名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	27
b. 良かった	23
c. 普通	2
d. 悪かった	0
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的に
お聞かせください。

- ・ 過労死等に関する知識が少し身に付いたと思い良い事を聞けたと思いました。しかし、時給の所の説明が少しわかりづらかったと感じました。
- ・ 雇用契約書の大切さを改めて感じた。
- ・ 過労死遺族の方のお話を聞けたのが良かったです。会社を辞める時の具体的な方法がわかりやすかったです。
- ・ 過労で自殺に追い込まれる前に、誰かに相談して悩みを聞いてもらえるようにしたいと思います。
- ・ クイズ形式でとても関心を持って聞くことができる内容で良かった。
- ・ 労災認定が難しいこと、1分単位の時給や着替え時間の賃金など、知らなかった知識を身につけることができました。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 1分単位で給与が発生するのに、説明をするだけで支払わなくてもよく違法でないのは不思議に思った。
- ・ 時給が1分単位で計算されることや着替える時間にも給料が発生するとは思わなかったため、知れて良かったです。
- ・ 会社に言われたことをうのみにするのではなく、主張する事の大切さを学んだ。
- ・ 労災の請求数に対して、認定件数が非常に少ないと感じました。
- ・ 周りの人に相談できるようにコミュニケーションをとっていきたいと思いました。
- ・ 過労死は人ごとではなく、自分の身の周りにも起こりうることなのだと思います。
- ・ 法律の強化をすることも大切だと思ったけれど、実際は会社側が働き方を変えなければいけない難しい問題だと考えさせられました。
- ・ 今日学んだことを覚えておいて、自分の身は自分で守ろうと思いました。
- ・ ご遺族の方の話を聞くことができ、とても貴重な体験ができました。

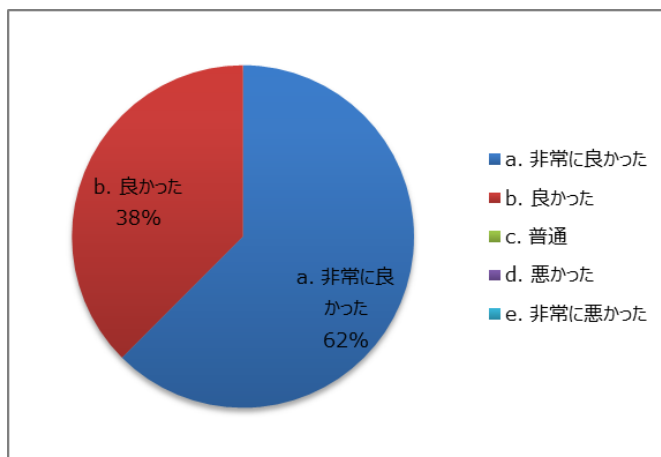
太成学院大学歯科衛生専門学校（2018年10月23日実施、参加：25名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	15
b. 良かった	9
c. 普通	0
d. 悪かった	0
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的にお聞かせください。

- ・ 予防策、対処方法など知れて良かったです。
- ・ 実際に被害者遺族の方のお話を傾聴でき、貴重な経験となりました。
- ・ ブラック企業の見分け方がわかり勉強になりました。
- ・ うつ病の話や長時間労働により過労死という事が実際にあるのだと聞き、自分自身気をつけようと思いました。
- ・ 保険についてもっと詳しく知れたらよかったなと思いました。
- ・ 実際にあった事案の話が衝撃的でした。雇用契約とかについてもう少しききたかったです。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 過労死というものが現実にあるのかと思うと、とても怖くなりました。自分だけでなく家族にも関係してくる内容であり、考えさせられることが多く、職場選びも慎重に行おうと思いました。
- ・ 求人を決める際に、注目ポイントや広告を見なければいけないところが変わりました。詳しくありがとうございました。
- ・ うつ病、過労の怖しさを学びました。また、就職活動では求人広告をよく見て、契約内容などよく考えようと思いました。
- ・ 人間関係はとても大切だということを改めて感じました。悩みなどがあれば1人でかかえこまず、相談し助けを求めることが大切だと学びました。
- ・ ブラック企業の見分け方を教えて頂いたので、これから参考にしていきたいと思いました。
- ・ 過労で本人が苦しんで自殺する人もつらいと思うけど、自殺した後の家族が一生苦しむんだと知りました。
- ・ 最後の契約は録音しておくという方法は何かあれば自分も有効に使おうと思います。
- ・ 自殺する人などをニュースで見たりすると心が痛いので、環境の改善や、周りの人が気づいてあげる事が大切だと思いました。

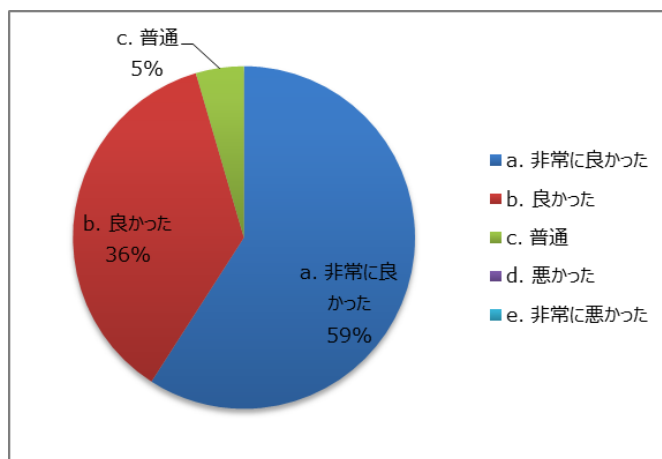
正則高等学校（2019年1月18日実施、参加：30名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	13
b. 良かった	8
c. 普通	1
d. 悪かった	0
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的に
お聞かせください。

- ・ 実際に関わった人にしか分からない実態やその時に感じたことを聞くことができたのはとても良かったです。
- ・ ブラック企業の見分け方やその仕事に入ってしまった時の対処法などを知ることができて良かったです。
- ・ 実際に過労死の被害に遭われたご遺族の方から、過重労働についてお話いただき過労死の苦しみがすごく伝わった。
- ・ 私たちの質問に丁寧に分かりやすく応答して下さい、資料をもらったり、写真やグラフなどを使用してお話で、とても分かりやすく教えていただけたので良かったと思います。
- ・ 過労死や過労自殺にならないための対策を教えて下さったことは、将来仕事に就いたとき役に立つと思う。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 貴重なお話が聞けて本当に良かったです。過労死、過労自殺は身近な問題ということが分かったので、この問題が増加しないため、減少するために何か力になりたいと思いました。
- ・ テレビで見るのとは違い深刻さが伝わった。なぜ会社で労働時間を強制できないのかと思った。
- ・ 今回、過労死に対して行われている運動のことや初めて知ることも多かったので、周りの人やSNSで広めるべき話題だと感じました。
- ・ ニュースで「労働問題」の内容が流れている時、かわいそうだなあと思う反面、「私はそうはならないだろう」と思っていたのですが、今日の授業を受けて、これは身近な問題なのだと感じました。この授業で分かったこと、知ったこと、気付いたことを今後の人生に活かしていければと思いました。
- ・ 過労死を社会問題の一つとして扱い、それでもなくならない暗い一面を持つ企業が身近にあることを考えると、恐ろしいと思うのと同時に将来が不安になりました。仕事についてより詳しく調べたいと思いました。
- ・ もともと学んでいた過労死問題について、もっと詳しく知ることができとても勉強になりました。少し理解するのが難しい内容もあったけど、過労死の知識が広がったと思うので授業を受けられて良かったです。

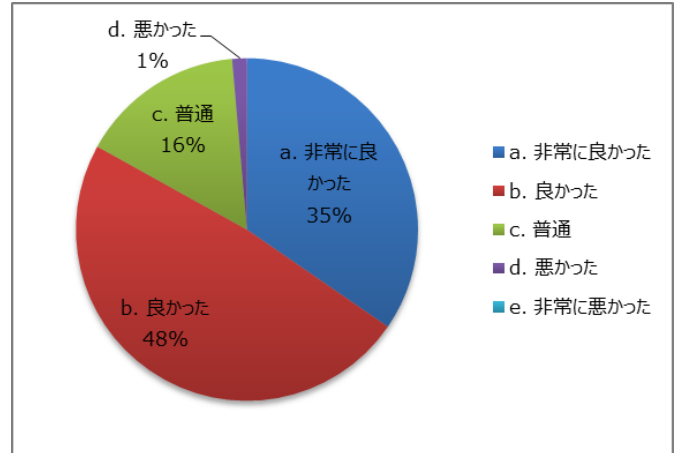
浦和高等学校（2019年1月23日、24日実施、参加：350名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	100
b. 良かった	140
c. 普通	45
d. 悪かった	4
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的に
お聞かせください。

- ・ 実際の体験談をもとにしていて、とても理解しやすかった。
- ・ 今まで過労死については他人事だと思っていたけれど、自分にも誰にでも起こり得るものなのだと分かった。
- ・ 過労死問題に対して、最前線で行動している人の生の意見を聞くことができてよかった。
- ・ 労働時間がどの程度なのか自分自身で把握して、自分で管理することも大切だと思った。
- ・ 遺族の方が実際に講演しているのを聞くと胸に迫ってくるものがあった。
- ・ ニュースなどでは知り得ない内部の事情が知れてよかった。会社側の考え方をもっと知りたかった。
- ・ 自分が社会に出て働く時は、労働に関するルールを把握して健康に気をつけたいと思う。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 過労で実際に亡くなっている人が予想以上に多く衝撃を受けた。早く対策しなければという思いが強まった。
- ・ 過度に過労問題を恐れる必要はないかもしれないが、無知でいるのが1番怖いと感じた。自分で調べたいと思った。
- ・ 過労が原因で亡くなった人の多さ、勤務状況、認定基準の厳しさや規制の甘さにとても驚いた。
- ・ 授業を受ける前は過労死というものとは中年の方が陥ってしまうものだと考えていたが、実際には20代、30代の若者が精神を追い込まれ死につながってしまうことが多いと知り、身近な問題であったのだと知ることができました。
- ・ 命のための仕事と言う部分に強く共感した。
- ・ 過労死の原因は長時間労働からくるものだと思っていたが、セクハラ・パワハラによるストレスも高い割合を占めていて驚きだった。自分は今までは賃金がもらえるなら長時間労働でも構わないと思っていたが、少し考え方をええようと思った。
- ・ 世の中には思った以上に働きすぎている人がいることを知って驚いた。一方では失業している人もいるというのだから、教育がもっと充実し、皆が戦力になれる社会になるといいと思う。

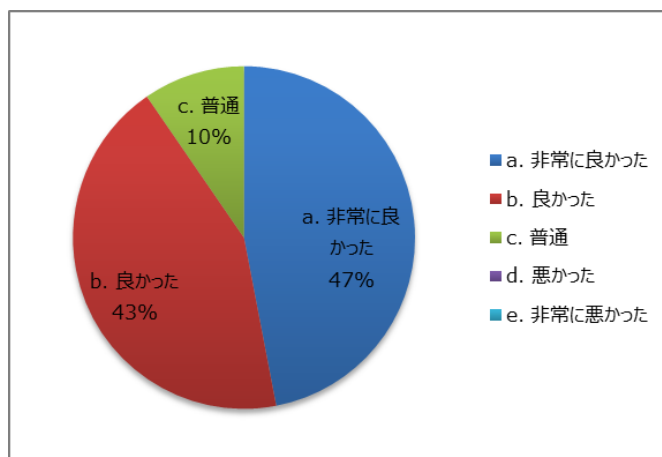
大阪府立四條畷高等学校（2018年9月27日実施、参加：360名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	132
b. 良かった	122
c. 普通	27
d. 悪かった	0
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的に
お聞かせください。

- ・ 辞めるリスクが今は高すぎると思う。いざ辞めるにあたってサポートしてくれる何かを知りたかったです。
- ・ 過労死やブラックバイトについて、今まで知らなかったことも分かりやすく説明していただけた。
- ・ 実際に家族を過労死で亡くされた遺族の方の生の声を聴ける事はめったにないので、貴重な経験となった。
- ・ 職業の選択で気をつけるべき視点などが分かったので良かった。
- ・ どのような状況（具体的に何時間以上の労働、何時間未満の休憩しかもらえていないか）で過労死に認定されるのかということがわかって良かったです。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 私の父にも当てはまるものがたくさんあったので、今日学習したことを父に言いたいと思います。
- ・ 仕事に対するやりがいや、やる気の度合いによって限界のラインは変わってくると思いますが、その人の変化に気づいて周りの人が止めることも重要なのだなと思いました。
- ・ 自分が思っていたよりも、労災が適用されにくいと知り、驚きました。
- ・ もしも就職をした企業がブラック企業であった場合、辞めるというのは最終手段であると思いますが、簡単に辞めることができない人もいます。そんな時に、仕事を辞める前になにかできることはあるのでしょうか。
- ・ 義務教育の段階で労働に関する授業を本格的にするべきだと思いました。「知らなかった」をできるだけ減らすために。
- ・ 生きるために仕事をしているのに、仕事のために亡くなるのはとても理不尽だと思った。遺族の方は思い出すことも辛いはずなのに、また同じことがくり返されないように、生の声を聞かせていただけるのはとてもありがたいと思った。
- ・ “過労死”という概念が外国ではあまり存在していなかったという話を聞いて、日本は、諸外国の企業の労働のあり方を見習うべきかもしれないと思いました。
- ・ 会社側が残業時間に制限を設けたのににもかかわらず、その時間の中で到底こなすことのできない仕事量を要求するという理不尽が、どうしてなくなるのかと疑問に感じました。

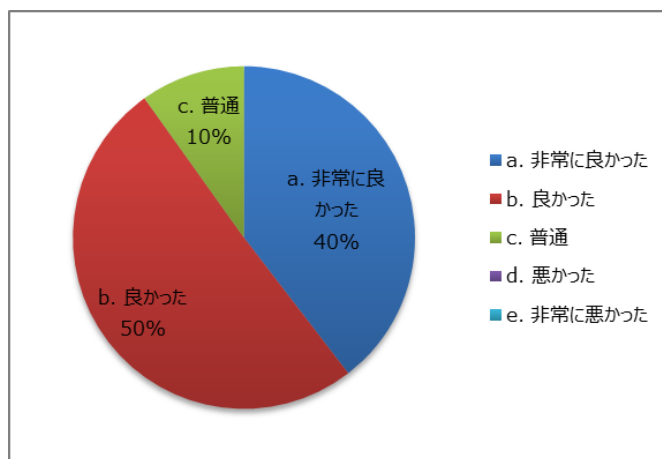
京都府立洛水高等学校（2018年12月13日実施、参加：200名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	72
b. 良かった	92
c. 普通	18
d. 悪かった	0
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的に
お聞かせください。

- ・ 講演を聞くまでは働きすぎて勝手に死んでしまうものだと思っていた。そうではなく、うつ病になり自殺をしてしまうといった場合もあると分かり、過労死、ブラック企業の問題について改めて興味を持ちました。
- ・ 過労死をなくすために、改善しようとしている方々が居ることを知り、頑張ってもらいたいと思いました。
- ・ 私も身近にうつ病になった人がいたので、このような話をしてくれて本当に嬉しかったです。
- ・ 過労死の恐ろしさが分かった。自分の職場に疑問を感じたら、1人で抱えず周りに頼ることが大切だとわかった。
- ・ 過労死遺族の方のお話を聞けると言う貴重な体験ができた。
- ・ 弁護士の方が来て過労死についてしっかり教えてもらえたことが良かった。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- ・ 会社のルールが国のルールよりも優先させられるのはおかしいと感じました。
- ・ もっと、一人一人がこの件について自分の意見を持っておかなければいけないと思います。将来この日本から、過労死というものがなくなればと思います。
- ・ 人間、働きすぎると心と体が壊れてしまうということを改めて学びました。また、これから自分たちが大人になっていく上でも、悩みを1人で抱え込まず自分を責めないということを心に刻みたいと思いました。
- ・ いままで過労死に対してのイメージはあまり湧かなかったけど、今日の講演を聞いてとても悲しいことだと思った。将来何があるかわからないが、今日のことを忘れずにいたい。
- ・ これからの将来が少し不安になった。働くことも大切だけど何より命を大切にしていきたいと思った。
- ・ 過労死は日本の大きな問題だと思うので、これからも講演を続けて欲しい。
- ・ 一生懸命真面目に働いている人がなりやすいと言うのはとても理不尽だし、絶対そんな事があってはならないと思います。近くでそんな人がいたら、少しでも支えになってあげられるようにしたいと思いました。

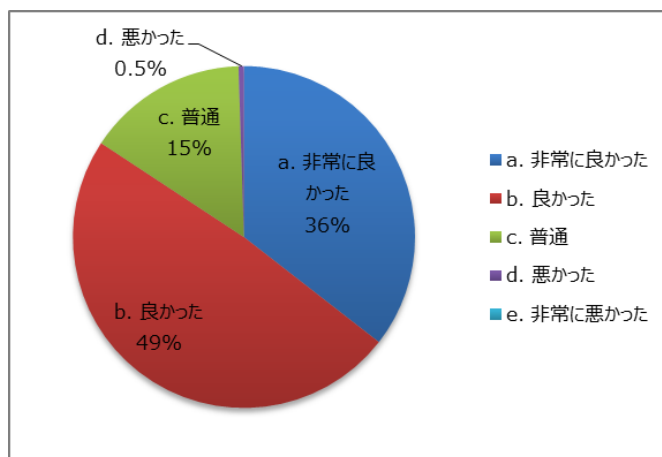
大田区立蓮沼中学校（2018年7月4日、6日実施、参加：260名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	70
b. 良かった	96
c. 普通	30
d. 悪かった	1
e. 非常に悪かった	0



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的に
お聞かせください。

- 私たちはまだ中学生なので分からない事や言葉がたくさんありますが、それを分かりやすい言葉で説明していただきました。またジェスチャーなどを入れて話してくれたことも良かったです。
- 働くことについての大切なことがいろいろ分かった。これからはもっと様々なところであいさつを大切にしたい。
- 「社会に出てから不安なことや大変なことがあっても、1人で考えるのではなく誰かに相談するといいよ。」といわれて安心しました。
- 労働基準監督官、社会保険労務士とにもくわしく説明していただきました。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- やはりどの仕事でもあいさつなどの礼儀は大切だと感じました。働く上で礼儀・ルールを守るなど大切なことがたくさんあることが分かりました。「働く」ということについて学ぶことはあまりないのでとても良い機会になりました。職場体験で役立てたいです。
- 今日の講演で労働基準監督官という職業を初めて知った。警察官と同じで、逮捕や捜査ができることに驚きました。
- 私たち中学生も「働いている」と言えるのだなと思いました。自分だけでかかえこまずに、周りに相談すること。また、積極的にあいさつをするなど、いろんな事が学べたので良かったです。
- 社会保険労務士という仕事の大変さや仕事の内容、働くことの大切さなどを今日は色々と教えてもらいました。今日の話を聞いてもっと社会保険労務士について知りたいと思いました。
- 職業体験前の講演でとてもためになりました。先生へのインタビューでは色々な話をきけて、面白かったです。
- 仕事は生きる上で大切で、そこでのマナーや人間関係については少し難しく感じたけれど、いざとなったら相談できる人たちがいることを知って少し安心しました。
- 働いている人が相談できるなど、安全に働けるようなしくみが整っていることを知りました。

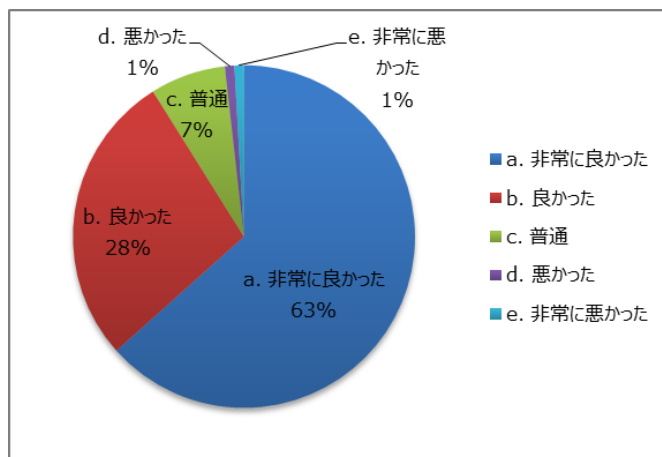
名古屋市立黄金中学校（2018年12月14日、2019年2月19日実施、参加：125名）

（生徒・学生からの感想）

1. 今日の授業（講演）についての印象をお聞かせください。

【 非常に良かった ・ 良かった ・ 普通 ・ 悪かった ・ 非常に悪かった 】

選択肢	件数
a. 非常に良かった	71
b. 良かった	31
c. 普通	8
d. 悪かった	1
e. 非常に悪かった	1



2. 今日の授業（講演）の良かったところ、悪かったところを具体的に
お聞かせください。

- 普段の授業やニュースだけではわからない過労死のことを、より深く知ることができました。将来活かしていきたいと思います。
- まず初めに弁護士の方から過労死について詳しく説明してもらったので、後からの遺族の方の話やビデオがよく理解できた。
- 仕事を始めるにあたって気をつけることや、労働組合についてなども知ることができてよかったです。
- 私たち中学生が過労死とはどのようなことなのかを学べる会だと思います。
- 法律の話をクイズ形式にされていて面白かった。楽しかったです。

3. 今日の授業（講演）の感想を自由にお書きください。

- 今までメンタルは何とかできていると思っていたが、自分で死を選ぶうつ病の怖さを知り、メンタルもしっかり治さなければいけないと思った。
- 過労死があったとしても証明するものが少ないと認めてもらえず、会社も隠そうとするというのは怖いと思う。
- 普段の授業で学んでいることがさらに深くなって良かった。このような授業はまたやって欲しい。
- 「労働」は自分にとって程遠いものだと思っていたのですが、高校生になってアルバイトをした場合イコール「労働」になるのだと知り、遠いようで近いものなのだと知りました。
- 仕事は本来、人にとって生きがいを得るためのものなのに、仕事の辛さ、過酷さで、自ら命を絶ってしまう人がいるという事は、大変残念で悲しいことだと思いました。今後誰もが苦しさや孤独を感じることなく働くことができる社会になってほしいと思いました。
- 困ったことがあれば、友達や親に相談し、1人で抱え込まないようにすることが大切だとわかりました。
- 私はアルバイトをする予定があるので、中学校でお話を聞くことができてとても良かったです。自分の働くところがブラック企業かどうか確かめてから選んでいきたいと思っています。

3.3 派遣講師用実績報告書回収結果

派遣講師より回収した実績報告書の中から、授業について記載のあった問題点、気づいた点等を一部抜粋して紹介する。

その他（問題点、気づいた点等）

（大学）

- 時間の関係上、法律および制度の説明に多く時間を割いてしまい、学生間の意見交流や発表の時間を取れなかった。学生の書いた感想を見ると、授業を通じて得た感想や考えた意見が記載されていたため、ある程度の時間をグループワークや発表に費やせば、より大きな学習効果が見込めただろう。
- 最初に遺族の話をしたところ、全学生が真剣に話をきいてくれていた。
- 時間が少ないというアンケートが目立った。
- 長時間にわたり、大変まじめに取り組み、ワークショップでもとても活発な意見が聞かれ、意識の高さを感じた。

（専門学校）

- 自分たちの働き方を意識した積極的に色々な質問が出てきて、こちらを考えさせられる質問もあった。通年の授業の一コマではなく、集中講義という形態での講義だと、過労死やワークルールへの関心がより強い聴講生が多いのかもしれない。
- これから社会にでられる学生の皆さんに知っておいてほしいこと（特に雇用契約や労働条件通知書に関すること）は確実に授業で押さえつつ、過労死、過労自死などの死に直結した話題はとてもデリケートかつ重たい内容が含まれるため、真実を話すことは大事ではあるが、あまりにも脅かすことがないように、しかしながら現実と知り、自分の命を守り働いてくこと、希望をもてる未来について展開できる授業を行っていくことが重要であると感じる。

（高等学校）

- 高校生にとっては、まだまだ働くななんて先のこと、過労死問題は、自分たちにはかかわりのない問題だという認識で話を聞き始めたのかもしれないが、徐々に真剣に話を聞くようになっていったように感じた。高校生のうちに、働き方に関心を持つことは、とても大事なことだと思う。
- 1セッション50分で弁護士、過労死遺族それぞれのプレゼンテーションをして、質疑応答の時間を設けるといのはなかなか難しいものであることが分かった。高校の授業は50分であるため、その制約の中でいかに十分な情報を伝えつつ、質疑応答の時間を確保するかは今後の課題である。
- グループディスカッション方式は生徒たちの反応も良く、今後採用していきたいと考えた。あらかじめ質問を受けておいてもらえると子供たちにマッチした講義が行えるのでありがたい

（中学校）

- 実質の授業時間が40分で一人で担当できないこともないが、この学校では常に2人体勢で臨んでいる。担当者を変えることで違う視点からの説明が加わり、より伝わりやすくなっていると思う。2コマ授業だと生徒が飽きるので、1～3年生まで各学年で1コマで話している。生徒の成長を実感でき、学校との信頼関係の構築に引続き注力したいと思った。過労死を防ぐためには本当であれば法令順守で対応できるので、義務教育の間に「命を守るためには自分たちも決まりを守ろう」と、これからも伝えたい。
- ワークルールの講義はパワーポイントを用いてクイズ形式の講義としたため、生徒達も集中力を欠くことなく、講義に参加してくれました。DVDで遺族の体験談を上映しましたが、生徒達は真剣に聴いていました。

5. 課題

今年度事業の課題は次のとおり。

（事業周知・広報について）

- ・ 講師の先生やご遺族の方々からの紹介は開講に直接繋がる場合が多い。次年度も紹介依頼は必須である。
- ・ 周知広報は出来る限り早い方が良い。開講までには学校側での検討に時間がかかり掛かる。

（講師の手配について）

- ・ 申込みから間近での開講希望の学校が数校あった。講師の方々のご都合もあり、次年度は申込用紙等に希望日までの期日を入れる必要があると思われる。
- ・ 複数クラスを同時開講の高等学校が数校あり、講師も複数人必要になった。今年度は手配できたが、講師の人数も課題になると思われる。

（講義の締め切り）

- ・ 夏休み後から申し込みが増え、予定実施回数に達したため10月末で申込みを締め切った。次年度はちらし等に申込締め切り日の記載の検討が必要と思われる。また、限定的ではあるが次年度での実施希望校もあった。